

清らかな源流の里 県南農林だより 第3号



「里芋つつみしんじゆ」
農家民宿料理研修会より

農林業関係の動き

■ 県南地域高病原性鳥インフルエンザ等防疫演習を実施！



発生農場
エリア

鶏を捕まえる演習

11月27日(木)、福島県農業総合センター農業短期大学校にて当事務所及び県南家畜保健衛生所主催による高病原性鳥インフルエンザ対策を主目的とした防疫演習を開催しました。

演習には民間の方を含めた関係者約70名が参加し、座学により防疫体制の全体的な流れを確認した後、実際に防護服を着用し、模擬鶏舎で生きた鶏を捕まえる作業を行いました。

また、消毒対象の車両を安全に誘導し、消毒する手順についても体験し、現場での対応能力の向上を図りました。(農業振興普及部)

目次

農林業関係の動き

- ◇ 県南地域高病原性鳥インフルエンザ等防疫演習
- ◇ 「しらかわきずな農場」竣工式
- ◇ 苗木のスクールステイ
- ◇ いちご加工品求評会
- ◇ 農家民宿等料理研修会

コラム

- ◇ 平成27年産ナラシ対策に加入しましょう！^{もり}
- ◇ 企業による森林づくり活動の紹介

お知らせ

- ◇ よってがし しらかわ食・人フェア2015
- ◇ おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン
- ◇ 集落営農セミナー開催
- ◇ 復興パネル展～農空間、復興への歩み～

■ 6次化施設「しらかわ・きずな農場」が竣工！



竣工式の様子

12月2日(火)、農産物の生産から加工・販売までを行う、いわゆる6次産業化の取組を実践する施設「しらかわ・きずな農場」の竣工式が行われました。

この施設は、植物工場で自社生産したほうれん草や地元農家の農産物を活用しムース食品に加工するもので、病院や介護施設向け食品として販売します。

施設を運営する「株式会社しらかわ五葉倶楽部」は、震災後、これまでの農業にはな



工場全景

い新たな取組により復興を目指す福島県内の農業者が一丸となり、平成25年3月11日に設立されました。

今後、高齢者福祉事業や給食施設事業を展開する計画であり、医福食農の連携を実践しながら雇用の確保につなげる新たなビジネスモデルとして、大きな期待が寄せられています。(企画部)

■「ドングリ苗木のスクールステイ」を実施



ドングリを植えた児童たち(内川小)

平成30年の全国植樹祭に向け、県では、小学校を対象にドングリを植え苗木を育てる「スクールステイ」を推進していますが、平成28年度に町内の小学校が統合となる矢祭町では、他の地域に先行してコナラとクヌギのドングリ植えを行いました。

10月下旬から12月上旬にかけて、町内全ての小学校で当所職員と一緒に、コナラとクヌギの苗をそれぞれ1人1鉢ずつ作りました。

ドングリを植えた児童からは「ドングリの名前がわかった」、「大切に育てたい」等の感想が聞かれました。今後、平成28年の春まで各学校で水やり等の管理を行い、記念植樹等の行事で活躍する予定です。(森林林業部)

■ 県南地方攻めの農業技術革新会議でいちご加工品求評会を開催！



いちご加工品求評会の様子

12月2日(火)、JA東西しらかわ「みりよく満点物語」でいちご加工品求評会を実施しました。

収穫期後半(4月から5月)に、収穫せずほ場に放置されてしまう下位等級品の有効活用を図るため、「みりよく満点物語」の根岸料理長に加工品を試作していただきました。

いちごのピューレ、粉末等の加工品を使用したいちごのちらし寿司、いちごのパスタ、ローストポークいちごソース等を試作しました。見た目も華やかでおいしく、いちご加工の可能性が広がりました。

将来的には、放置されているいちごを有効活用して収入につなげ、県南地域の美味しいいちごをPRしていきたいと考えています。(農業振興普及部)

■「農家民宿向け料理研修会」を開催



講師による実演を熱心に聞き入る参加者

12月10日(水)、棚倉町文化センター「倉美館」調理実習室で、農家民宿向け料理研修会を行いました。

「みりよく満点物語」の根岸料理長を講師に、県南地方の「郷土料理」と「地元の農産物等を使って誰でも簡単に料理できるメニュー」を提案し、試食、意見交換を行いました。

今後、出席された方からの意見やアドバイスを基に「レシピ集」を作成して農家民宿等に提供しますので、レパトリーに加えていただきたいと思っています。(企画部)

【郷土料理】こんにやくの煮物、刺身こんにやく、こんにやく田楽
 【地元食材を活用した料理】とうみぎごはん、あつさり豚汁、里芋つつみしんじょ、こんにやくシューマイ、こんにやくジャーキー、酒粕のクラッカー、かぼちやのクラッカー、アイス、小松菜の蒸しパン

■「平成27年産ナラシ対策」に加入しましょう！

平成26年産米ではJAの概算金がこれまでにない低い価格であったことから今後の稲作経営に対する不安の声が聞かれます。国は米価等の下落に対する保険制度として「米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」を行っていますので、平成27年産の作付けに当たっては、ナラシ対策に加入して経営の安定を図りましょう。

1 加入対象者

平成27年産からは、①認定農業者、②認定新規就農者、③一定の要件を満たした集落営農が対象になります(規模要件はなくなりました)。

2 対象品目 米、麦、大豆(東北の場合)

3 制度のしくみ

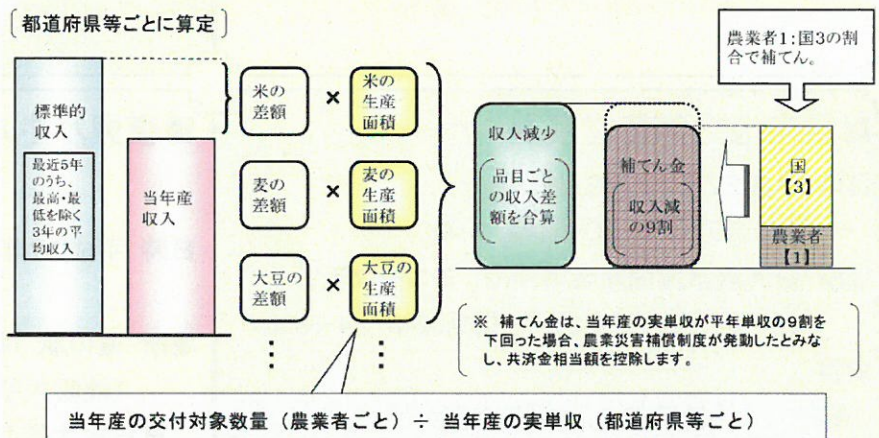
当年産の販売収入の合計が標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国と農業者による積立金で補てんされます。

対策加入時に①10%下落に対応できるコース、②20%下落まで対応できるコースのいずれかを選択します。

4 問合せ先

詳しくは、東北農政局いわき地域センター白河庁舎(電話0248-22-1241)、または地域農業再生協議会(市町村担当課)にお問い合わせください。(農業振興普及部)

※①認定農業者②認定新規就農者は市町村長認定を受けます。③集落営農は、規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施が要件となり、法人化や農地利用の集積については、市町村の確認が必要になります。加入の要件を満たすために、早めに市町村窓口にご相談してください。



■企業による森林づくり活動が行われました

常磐興産株式会社(本社:いわき市)では社員による社会貢献活動の一環として、平成24年度に埴町真名畑にある社有林(0.37ha)に広葉樹を植栽し、以降毎年下刈り等の保育作業を行っています。今年度は11月29日(土)に、社員等27名が参加し、植栽地の下刈りの他、イノシシにより食害を受けた苗木の補植作業が行われました。

当日は、東白川郡森林組合の職員から下刈りと補植の方法について説明を受け、5班に分かれて作業に取りかかりました。朝から雨が降る生憎の天気でしたが、参加者一同、大きな怪我もなくおよそ2時間、保育作業に汗を流しました。



作業後の社員の皆さん

県では、このような企業等が社会貢献活動として行う森林整備の取組に対し、平成22年度に「福島県森林整備活動による二酸化炭素吸収量認証制度」を創設し、実施者からの申請に基づき年間の活動実績を二酸化炭素吸収量に換算し認証を行っています。

常磐興産株式会社の取組に対しては、平成24年度に県南地方で初めて年間1.79トンの二酸化炭素吸収量を認証し、昨年度に引き続き今年度も申請が提出されることとなっています。(森林林業部)

■よつてがし しらかわ食・人フェア2015

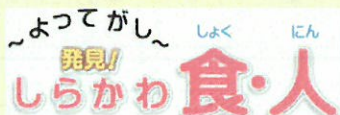
日時 平成27年1月10日(土)、11日(日)

9:30~19:00

場所 ヨークベニマルメガステージ白河店

県南地方で生産されている6次化商品をPR、販売します。

購入された方には、豪華景品が当たるくじ引きもありますので、是非ご来場ください。



■おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン

日時 平成27年1月10日(土)、11日(日)

14:00~17:00

場所 ヨークベニマルメガステージ白河店

県オリジナル水稻種の「天のつぶ」と福島牛のPRキャンペーンです。

「天のつぶ」の配布と福島牛の試食を行いますので、是非ご来場ください。

※「よつてがし しらかわ食・人フェア」と同時開催

■県南地方集落営農セミナー

日時 平成27年1月29日(木)

13:30~15:30(開場13:00)

場所 白河農業協同組合本所セレモニープラザ

(白河市弥次郎窪29-1、電話0248-24-5850)

内容

・講演1 「持続可能な農村経営を目指して！」

講師:農事組合法人KAMIX 代表理事組合長
近田利樹 氏(宮城県加美町)

・講演2 「奥会津地域の農業を守るために~(株)奥
会津金山大自然の取組」

講師:株式会社奥会津金山大自然
代表取締役 押部清夫 氏(福島県金山町)

・情報提供

説明者:東北農政局いわき地域センター白河庁
舎、福島県県南農林事務所

申し込み先 農業振興普及部(担当濱名)

(TEL:0248-23-1562、FAX:0248-23-1559)

E-mail: shinkouhukyu.af03@pref.fukushima.lg.jp)

■復興パネル展

~農空間、復旧への歩み~

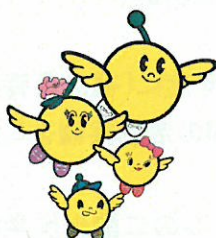
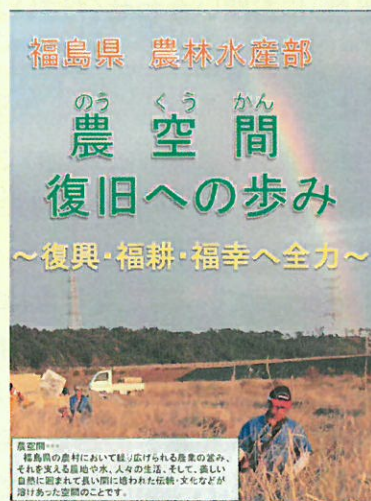
日時 平成27年1月9日(金)午後

~1月19日(月)午前

場所 道の駅 はなわ

(塙町大字塙字桜木町388-1)

東日本大震災で被災した本県農業生産基盤の復旧状況が一目でわかる写真パネルを、多数展示します。



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒:961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577



ふくしまからはじめよう。

平成26年12月19日発行

Future From Fukushima.